

安全運転

理学部長 牟田 泰三



細かい事情は知らないが、クルマの動力性能に関しては自主規制があつて、二八〇馬力を超えるエンジンは国産の市販車には搭載しないことになつてい

現代社会でクルマはほとんど必需品であり、特に西条のような町ではそれがあつかないで便利さがずいぶん違ってくる。それにしても、クルマを持つてみると、動力性能に対する欲求はいくらでも膨らむものである。私自身の体験でもここ数十年の間に、七〇→一〇〇→一三〇→一七〇馬力と膨らみ続け、止まることを知らない。もちろん動力性能の向上に応じて足まわりも強化されている。

そこで最近考えた。世の中に上限というものがあるのなら、いっその上限にしまえば、この果てしない欲求の膨らみに終止符を打てるのではないか。そんなときにタイミングよく我が家に現れたセールスマン氏「それでしたら、我がM社のVR-4ですよ。コストパフォーマンス抜群ですよ」。これで簡単に説得されてしまうところが、我ながら単純だと思ふ。

数日してこのことを知った同僚の一人曰く、「そんなクルマだったら、お宅でアタセルをひと踏みしたら、もう大学に着いて

いるんじゃないですか」。いやいや、三踏みぐらいはしている。おっと、そんなことはないか。

もつともクルマの動力性能に関する規制は、会社側の自主規制のようであるから、数年するとすぐに上限が三二〇馬力に引き上げられたりするかもしれない。これでまた悩みはつきないことになる。

さて、クルマは便利な道具であり、人によつては楽しい趣味の一つでもあろう。クルマの困つたところは、他の器具(例えばパソコンとかオーディオ機器など)と違って、使用を誤るとたちまち凶器に化けることである。安全運転を心がけるに越したことはない。新入生諸君もそのうちクルマやバイクを乗り回すことになるかもしれないが、東広島では学生による事故が多発していることに注意していただきたい。学生諸君による事故を見たり聞いたりするたびに、心が痛むのである。

事故を起こさないためには、クルマやバイクに乗らないのが一番であろうが、それはいかにも非現実的だ。では、仮にクルマに乗るとして、事故を起こさないための心構えには、どんなことがあるだろうか。

- 一、運転に集中する。ぼーっとして運転したり、友人と話し込んだりしない。
- 二、作業点検を怠らない。冬、窓ガラスが一部凍つたまま発進したりするのは事故のもとである。
- 三、交通規則はとにかく守る。
- 四、飲酒後、睡眠不足、体調不良などのときは、もちろん運転を避ける。
- 五、冬はスタッドレスタイヤに履き替えよう。
- 六、Anticipation(予測)。運転中、目の前

のこのみに気をとられるのではなく、これから起こりそうなことに気を配る習慣をつけよう。

七、他人に過大な期待をしないようにしよう。他車がよけてくれるなどと考えない。新入生諸君が、事故の悲惨さを十分認識して、安全運転を心がけてくれることを願う。(むた・たいぞう)



戦後復興のシンボル(旧理学部本館)

部屋整理

理学研究科博士課程前期

河野 明男



新入生の皆さん、入学おめでとう。さて、皆さんの多くは、これから一人暮らしを始めることになると思われ。そこで問題になってくるのが「部屋の整理

整頓」である。収納場所も狭く、物もまた多くなりがちな学生の部屋を、いかに住みやすくするかというのは非常にやっかいな問題なのである。特に男の部屋というのは荒れがちであり、足の踏み場もないという形容詞がびつたりと部屋もよく見かける。そこで「部屋づくりの達人」の異名を持つ私が、部屋づくりのコツを伝授しよう。まずは押入の使い方である。普通の部屋ならば押入が最大の収納場所となるはずであり、ここを上手く使えるかどうか、収納上手かそうでないかの分かれ目と言っても過言ではない。ありすぎる奥行きという欠点をカバーするのが引き出しである。引き出しボックスを利用して衣類などを収納すればよいだろう。この引き出しボックスは整理収納の方法にちよつとしたコツがある。

引き出しに段ボールで仕切りを作り、衣類は幅を揃えてたたみ、縦に立たせるように入れば取り出しも楽に行える。また、小さな道具類はどうしてもごちゃごちゃしてしまいがちである。解決方法としては収納の大原則に立ち返り、それぞれの道具類に対して定位置の収納場所を決めることである。しかし、整理収納の最大のコツは、やはり「物をもたないこと」。これに尽きるであろう。すっきり快適に暮らしたいのであれば、それなりの覚悟が必要である。気に入った物、本当に必要な物だけに囲まれて過ごすこと。それは価値観、どのように生活したいのかなど、自分を知ることからはじまる。そうして不要品を見極め「ゼイ肉」をそぎ落としていく。それが快適かつすきな部屋づくりの第一歩なのである。(かわの・あきお)